

2013年8月28日
在リオデジャネイロ日本国総領事館

リオ州の治安情報 4 2号

抗議デモ発生に関する注意喚起

1. 最近のデモ情勢

6月下旬にブラジル全土に波及した大規模抗議デモは収束しましたが、リオ市においては引き続き各種デモが継続されています。現在の主なデモは、

- ・ リオ州・市の教職員組合による勤務待遇改善を求めるもの
- ・ リオ州知事の退陣を求めるもの (FORA CABRAL)

ですが、これらのデモにブラック・ブロック、アノニマス等の無政府主義団体が入り込んで破壊活動を行い、治安当局と衝突する事例が散見されています。

教職員組合は主にセントロ地区でデモを行っており、基本的には無政府主義グループとは距離を取る構えです。

FORA CABRAL は、主にラルゴ・ド・マシャドからグアナバラ宮殿にかけて、州知事の退陣を求めるデモ行進を行っており、再三に亘って治安機関と衝突し、激しい破壊活動を行っています。

治安当局はデモの発生に関して随時情報収集を行っており、情報を得た場合、周辺に機動隊を配置するなど対処していますが、デモ発生のきっかけは多岐に亘り、短時間で人が集まるため、情勢の把握が困難になっています。

2. 注意事項

(1) 夜間はラランジェイラス地区の通行を控える

最近の暴力的デモは、セントロ地区よりもむしろグアナバラ宮殿周辺において多く発生しており、ピニエイロ・マシャド通りやラランジェイラス通りの通行が規制されることがあります。

(2) 多数の警察官に気づいたら注意

警察官が多数いる場合は、警察官や付近の人から情報収集を試みてください。

(3) デモに遭遇した場合

デモに遭遇した場合は、安全な場所に退避してください。周辺をデモ隊に囲まれてしまった場合は、屋内に退避して情勢が落ち着くのを待ってください。

これまでの破壊活動の標的は、行政機関建物の他、バス停などの公共バス関連施設、銀行、マクドナルドやスターバックス等の米国籍飲食店が目立っていますので、これらの標的となる建物・施設から離れてください。